

海外安全対策情報

【定期報告：7月～9月】

在ケープタウン領事事務所

1. 西ケープ州における犯罪傾向

- (1) 9月末に南アフリカ警察局より西ケープ州における犯罪統計が発表された。特に殺人(2,909件/前年比12.7%増)、強盗(32,666件/前年比12.0%増)、薬物犯罪(85,463件/前年比4.1%増)、暴行(62,199件/前年比3.4%)に著しい増加が見られた。その他、殺人未遂、窃盗、住居侵入等も微増し、未だ各犯罪は高い水準で推移している。
- (2) 西ケープ州は観光シーズンが到来したことにより、テーブルマウンテンやウエストコーストナショナルパークなど国立公園内に潜む不法滞在者及びギャングらが、観光者や登山客の金品を狙うという犯罪が活発化したとの報道がなされた。
- (3) 在ケープタウン領事事務所管轄地域の2014年7月～9月における邦人に対する被害の報告件数は3件であった。

2. 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

(1) 殺人

ア 邦人被害者情報なし。

その他被害事件

イ 邦人被害者情報なし。

(2) 強盗

邦人被害

ア 8月24日、午後5時頃にケープタウン市内のクリスチャンバーナードストリートで邦人男性が1人歩いているところを、後ろから付けてきた刃物を持ったアラブ系の若い男に金と携帯電話を渡すよう脅された。男性は助けを呼ぼうとしたところ、犯人にナイフで切りつけられ、腕に切り傷を負った。犯人は何も奪わずに逃走した。

その他の被害事件

イ 邦人被害者情報なし。

(3) 強姦

ア 邦人被害者情報なし。

(4) その他

ア 7月に複数名のギャングがテーブルマウンテン国立公園に不法滞在し、密猟を行っていた。その現場をレンジャーが発見し、逮捕しようとした際にギャングに胸を刺されて重傷を負った。その他同様の事件が観光名所のウエストコースト国立公園やシグナルヒルなどで起きている。

イ 7月16日、パレスチナのガザ地区爆撃に対し、ケープタウン市市内中央にある国会前で大規模なデモが行われた。加熱するデモの中で警官との揉み合いが起こり、デモの参加者数人が逮捕された。

ウ 7月27日、午前2時頃、ロングストリートのバーでお酒を飲んでいたところ邦人男性の鞆が何者かに開けられ、中に入っていた現金、パスポート及びその他貴重品類が盗まれた。

エ 7月31日、午前5時半頃にケープタウン市プラムステッドのメインロードを自転車で走っているところを何者かに押し倒され、自転車と身につけていた心拍計を奪われた。また近辺では同様の事件が事件当日からその2週間前までに2度起きている。

オ 8月11日、午後4時頃、ケープタウン市プラムステッドのスーパーマーケットで挙動不審な2人の男性に警備員が近づいたところ、1人が銃を取り出し床に向かって発砲した。容疑者らはそのまま何もせず逃走した。

カ 8月13日、夕方にN2のヴァンガード周辺を走行していた男性の車が道路に故意に設置されたレンガに乗り上げタイヤが破裂した。男性は危険を感じ、しばらく走行した後に停車してタイヤを交換しようとしたところを待ち伏せしていた2人の男に襲撃された。男性は肩を刺され、車は盗まれた。

キ 8月15日、18時45分に武装強盗集団がコンスタンシアにあるレストランに押し入り、店内にいた客とスタッフを拘束し、現金、貴金属類を奪った。この事件で怪我人は出なかった。

ク 9月1日、早朝にケープタウンのニヤンガ及びフィリップ地区で11台のバスが放火され、ドライバーらが暴行された。犯行はミニバスと呼ばれる低収入層向けのバスドライバー達によるもので、近年バス路線が同地区まで進出してきたことにより競争が激しくなっていることが一因とされている。

ケ 9月7日、午前8時頃にケープタウン市内のヒルトンホテルに停車していた観光

バスに邦人男性が荷物を置いて5分程離れた。その合間に何者かがバッグ及びパスポート、パソコン、現金などの貴重品類を盗んでいった。

3. テロ・爆弾事件発生状況

特になし。

4. 誘拐・脅迫事件発生状況

特になし。

5. 対日感情

概ね良好。

6. 日系企業の安全に関する諸問題

特になし。

7. 日本人安全対策のためにとった具体的措置

(1) 在留邦人へのお知らせ等の発出

不定期ながらも、安全対策に役立つ情報を当事務所より「領事事務所からのお知らせ」としてメールを発出し、在留邦人に対して安全対策情報を発信している。

(2) その他の措置

常日頃より、当地在住の邦人等との意見交換を行い、当地での生活の安全情報の収集に努めている。